

【令和4年度】沖縄労働局長がベストプラクティス企業への職場訪問を実施しました。

趣旨

「過労死等防止対策推進法」では、国民の間に広く過労死等を防止することの重要性について自覚を促し、これに対する関心と理解を深めるため、毎年11月を「過労死等防止啓発月間」と定めています。

沖縄労働局（局長 西川 昌登）では、この取組の一つとして、沖縄労働局長が働き方改革や長時間労働の削減等に向けた積極的な取組を行っている企業を訪問し、その取組などについて、各企業においても参考にしていただくべくご紹介を行っています。

訪問日：令和4年11月28日（月）

訪問企業 沖縄NXエアカーゴサービス株式会社（通称：OAS航空）

本社所在地 豊見城市字与根491-2
代表者 代表取締役社長 栗山 良政
従業員数 150人（うち正規職員115名 2022年11月現在）
資本金 2,500万円
業務内容 国内利用航空運送事業、一般貨物自動車運送事業

訪問概要

各取組について説明を受け、意見交換の後、作業風景等を見学させて頂きました。



取組状況

取組方針

- 「安全・健全・改善」の3つのゼンを推進し、プライドを持って、生き生きと働く全ての従業員とその家族が幸せを感じられる会社とする。

健康障害防止の為の取組

- 年1回の健康診断に加え、一部費用会社負担による人間ドックの実施（35歳以上の従業員対象、産業医面談実施）

「働きやすい職場認証（ ）」の取得

- 2022年より「働きやすい職場認証」を取得（事業種別トラック）
（ ）国土交通省が創設した認証制度（正式名称は「運転者職場環境良好度認証制度」）。認証基準には「法令遵守等」「労働時間・休日」「心身の健康」「多様な人材確保・育成」などの6分野があり、労働条件や労働環境の改善の取組を評価し、優良な職場環境の企業であることを示す認証制度

長時間労働削減、年休取得推進の主な取組

- 始業、昼休み、終業1時間前、終業といった節目にチャイム、音楽を流し、時間外削減の意識化を図る
- 労働基準法、36協定に基づいた課所別の年間時間外労働時間の推移を見える化し、各所属への通知と各部門からの応援体制の整備によって労働力を平準化
- 業務波動の把握による年間業務計画の策定
- 課所別の年間年休取得の推移を見える化し、取得計画を策定（年間10日以上取得推進）、リフレッシュ休暇制度導入
- IT点呼（ ）導入による現場負担の軽減と平準化
（これまで各営業所で対面実施していた運行管理者と運転者との間の点呼を、ICTを活用してリモートで実施するもの。本部から各営業所との間で点呼が実施でき、運行管理者などの各営業所の現場負担の軽減などを実現）

CSRへの取組強化

- 2021年より、年1回の全社匿名コンプライアンスアンケートを実施
- パワハラ防止法に基づく、社内、社外への相談窓口設置

その他の取組

- トップメッセージや情報発信による企業理念・経営方針の浸透と具現化
- 社内Webシステムによる経営計画進捗状況の情報共有と相互コミュニケーション
- 評価制度刷新（役割基準、行動基準、フィードバック）による人材育成
- 女性活躍推進の取り組み（5年計画をもって1名以上の女性管理職登用を目指す）
- 社会保険労務士による社員面談とヒアリングの実施



- 写真左上
本社、中部、名護、宮古、石垣の各営業所に導入されたIT点呼機器を確認しました。
- 写真右上
働きやすい職場認証制度登録証書
（国土交通省認証）
- 写真左
倉庫内作業状況を確認しました。